

平成28年度

水道事業 工業用水道事業 公共下水道事業

決算の概要

上下水道局の
会計について

問い合わせ 上下水道局 業務課 ☎2193



水道事業

平成28年度の収益的
収支は、収入総額5億
2,869万円、支出総額4
億7,327万円で、差し引
き5,542万円の純利益と
なりました。（消費税
および地方消費税抜き）

に努めました。しかし、営業
収支では依然として営業損失
を計上しており、より一層の
経費の削減などによる経営の
健全化が必要です。



工業用 水道事業

平成28年度の収益的
収支は、収入総額5億
1,278万円、支出総額4
億6,974万円で、差し引
き4,304万円の純利益と
なりました。（消費税
および地方消費税抜き）

工業用水道事業は、これま
で安定した工業用水の供給を
行うことで、本市の産業の活
性化に寄与してきましたが、
旧第2期工業用水道事業の企



公共 下水道事業

平成28年度の収益的
収支は、収入総額9億
5,565万円、支出総額8
億6,464万円で、差し引
き9,101万円の純利益と
なりました。（消費税
および地方消費税抜き）



業債償還利息や減価償却費が
財政を大きく圧迫するなど、
厳しい経営状況です。

平成28年度は利益を計上し
ましたが、今後も、施設の維
持管理を適切に行うととも
に、より一層の経費節減を行
いながら経営の健全化に努め
ます。

処理人口の減少や節水機器
の普及などによる処理水量の
減少に伴い、使用料収入が
年々減少しています。また、
比較的早くから事業を展開し
てきたことで、事業認可区域
内の整備はほぼ完了していま

すが、施設の老朽化の対策の
ため、厳しい経営状況となっ
ています。

そのため、下水処理場やポ
ンプ場などの施設の延命化と
維持費の平準化などによる中
長期的な費用の抑制のため
「下水道長寿命化計画」に基
づき、経費の節減などによる
経営の健全化に努めました。

決算書を販売しています

上下水道局の平成28年度決算書を500
円で販売しています。市立図書館や情報公
開コーナー（市役所2階）、市ホームペ
ジでもご覧いただけます。



水道事業・工業用水道事
業・公共下水道事業の会計
は、地方公営企業法に基づ
き、複式簿記・発生主義を基
本とする企業会計を行って
います。

現金の増減記録（単式簿
記）だけでなく、経済取引に
よって生じた「結果」とその
「原因」の両面により記録す
る複式簿記は、業務の経営成
績・財政状況を的確に把握
し、業務の適正な評価ができ
るので、効率的な運営のため
に行っています。

貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

資 産	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
固 定 資 産	40億4,906万円	85億5,407万円	97億7,964万円
有形固定資産	33億7,656万円	35億2,190万円	97億2,323万円
無形固定資産	864万円	50億3,217万円	5,641万円
投 資	6億6,386万円	0	0
流 動 資 産	13億7,206万円	5億9,932万円	6億2,616万円
現 金 預 金	13億4,258万円	5億6,302万円	4億1,005万円
未 収 金	2,567万円	3,569万円	2億1,549万円
貯 蔵 品	341万円	31万円	32万円
その他流動資産	40万円	30万円	30万円
資 産 合 計	54億2,112万円	91億5,339万円	104億580万円
負 債	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
固 定 負 債	7億1,183万円	49億2,386万円	26億7,660万円
企 業 債	6億4,575万円	42億4,943万円	25億6,053万円
リ ー ス 債 務	0	0	0
庁舎建設負担金	0	0	5,316万円
他会計借入金	0	6億6,257万円	0
引 当 金	6,608万円	1,186万円	6,291万円
流 動 負 債	2億1,155万円	5億5,454万円	3億8,027万円
企 業 債	4,469万円	5億3,377万円	2億6,425万円
リ ー ス 債 務	88万円	0	0
庁舎建設負担金	0	0	124万円
他会計借入金	0	128万円	0
引 当 金	622万円	68万円	391万円
未 払 金	7,013万円	1,797万円	1億979万円
その他流動負債	8,963万円	84万円	108万円
繰 延 収 益	7億7,540万円	11億6,232万円	39億1,864万円
負 債 合 計	16億9,878万円	66億4,072万円	69億7,551万円
資 本	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
資 本 金	10億7,336万円	28億6,291万円	0
自 己 資 本 金	10億7,336万円	28億6,291万円	0
剰 余 金	26億4,898万円	△3億5,024万円	34億3,029万円
資 本 剰 余 金	16億5,119万円	4,607万円	23億3,419万円
利 益 剰 余 金	9億9,779万円	850万円	10億9,610万円
欠 損 金	—	4億481万円	—
資 本 合 計	37億2,234万円	25億1,267万円	34億3,029万円
負債・資本合計	54億2,112万円	91億5,339万円	104億580万円

損益計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収 益	水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
料 金 収 入	4億3,025万円	4億6,683万円	4億6,330万円
その他営業収益	2,262万円	13万円	2億1,620万円
営 業 外 収 益	7,002万円	4,538万円	2億6,913万円
そ の 他	580万円	44万円	702万円
収 益 合 計	5億2,869万円	5億1,278万円	9億5,565万円
費 用	水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
人 件 費	5,197万円	872万円	2,490万円
物 件 費	1億4,997万円	1億726万円	3億5,092万円
動 力 費	317万円	40万円	16万円
受 水 費	1億195万円	0	0
支 払 利 息	1,750万円	9,040万円	5,668万円
減 価 償 却 費	1億4,864万円	2億6,296万円	4億2,020万円
そ の 他	7万円	0	1,178万円
費 用 合 計	4億7,327万円	4億6,974万円	8億6,464万円
純利益(純損失△)	5,542万円	4,304万円	9,101万円

※消費税・地方消費税抜き

貸借対照表って何？

財産状況を示すもので、経営に必要な資金をどのように集め、どう運用しているかを明らかにしています。

大きく分けると、「資産」「負債」「資本」に分類されます。「資産」が手持ちの財産内訳で、「負債」「資本」がその財産を取得したときの方法になります。

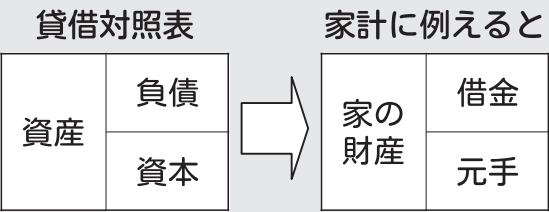
このため「負債」「資本」の金額を合計したものが「資産」になります。このことから**バランスシート**とも呼ばれます。

家計に例えると、貸借対照表（バランスシート）は、1年間やりくりした結果、年度末時点での家計の状況を示したものとなります。

「資産」は、持っている土地や家などの財産、預金、現金などになります。

「負債」は家のローンなどの借金になります。

「資本」は家庭を築いたときの元手や、その年度の利益や損失が含まれます。



損益計算書って何？

1年間の営業活動の内訳を表したもので、その企業がいくら「収益」を得て、いくら「費用」が必要であったのかが分かります。また、その差し引きにより、利益（または損失）がいくらあったかを知ることができます。

家計に例えると、家計を1年間やりくりした実績を表したものです。これにより1年間で黒字だったのか、赤字だったのかが分かります。

「収益」は働いて得た給料などの収入や株の売却益などの臨時収入です。

「費用」は食費や電話代、保険料、借金の利息などの支出です。すべての収入から、すべての支出を差し引いたものが、黒字（または赤字）になります。

